

現況分析における顕著な変化に ついての説明書

教 育

平成 2 2 年 6 月

鹿児島大学

目 次

3. 理学部	1
--------	---

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育／研究)

法人名	国立大学法人鹿児島大学	学部・研究科等名	理学部
-----	-------------	----------	-----

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目Ⅱ 教育内容

2. 上記1における顕著な変化の状況、その理由

○顕著な変化のあった観点名「教育課程の編成」

通常のエ育課程のほかに、より高度な理数系教育による幅広い、応用力に優れた人材育成を実施するための文部科学省「理数学生応援プロジェクト」(平成 20-23 年度)事業に、全国の大学のさまざまな取組の中から選ばれた本学の「インテンシブ理数特別プログラム」により、高度かつ幅広い知識と高い研究意欲を持った学生を育成するため、特別教育コースを設けている。この特別教育コースは正課教育と課外教育から構成されている。正課教育では、英語教育、日本語教育、異分野教育に主眼が置かれ、特に、3年次からは外国人教員による英語のプレゼンテーション授業を実施している。課外教育は、共通教育に重点を置かれている1～2年次に学生の科学へのモチベーションを高めるため、少人数を対象とする実験・実習・演習の課題研究、先端科学講演、国内外の先端科学施設研修などの体験型研修を実施している。さらに、この特別教育コースの設置に伴い、3年次の「早期大学院進学」を新たに設定した。

図1は、一般教育課程の学生のGPAの平均値に対する特別コース受講学生のGPAの割合を示している。特別教育コース受講学生のGPAは、一般学生よりもGPAで+3～+18%高い傾向にあることが解る。さらに、図2は、特別教育コース受講者のGPAの推移を示し、一般学生よりも高いGPAを維持していることがわかる。したがって、特別教育コースの教育プログラムは、学生の勉学意欲を高いレベルで維持することに役立っていると判断できる。

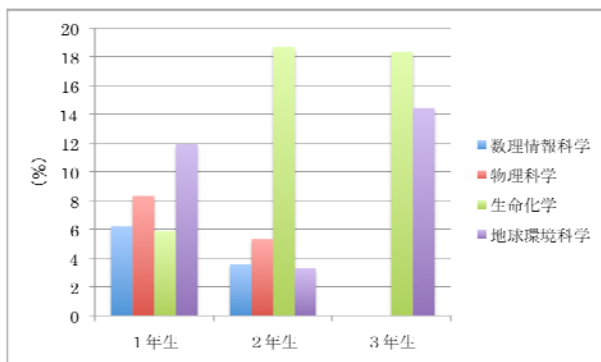


図1. 学科別一般教育課程学生の GPA 平均値に対する特別教育コース受講者 GPA の平均値の割合。

一般教育課程学生の GPA 平均値よりも、特別教育コース受講者の GPA 平均値が、1年生で+8%、2年生で+8%、3年生+16%高い傾向にある。

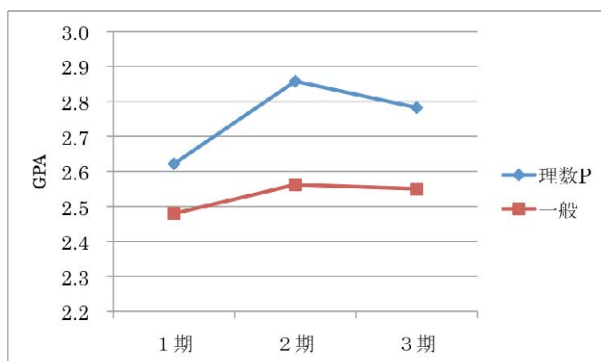


図2. 特別教育コース継続受講者と一般教育課程学生の GPA の推移。一般教育課程の学生の GPA 平均値は2.4～2.5で推移している。一方、特別教育コース継続受講者の GPA 平均値は、入学時の1期は2.6であったが、2期、3期において、2.8と高い水準を維持している。